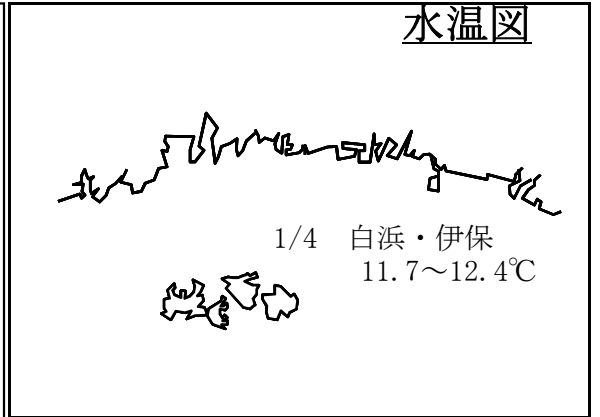


兵庫県のみ漁場環境情報 (西播海域 9号)

平成31年 1月 8日発行
 兵庫のみ研究所

前回(12/27)調査同様、この海域沿岸域を中心に多様な珪藻が多く発生しており、地先海域で窒素が1~2 $\mu\text{g at/L}$ 台に低下した漁場があります。沖合海域でも、漁場により発生量に大小ありますがこれら珪藻が見られており、窒素は3~7 $\mu\text{g at/L}$ 台となっています。気象情報によると、比較的穏やかな天候が続く予報ですので、珪藻の動向ならびに栄養塩状況には注意が必要です。

(**栄養塩、珪藻**) 沿岸域の珪藻は前回調査と比較し、発生量に大きな増減なく同種のものも多く確認された。窒素は、岩見・網干漁場で1~2 $\mu\text{g at/L}$ と低くそれ以外の漁場においても概ね3~4 $\mu\text{g at/L}$ と減少している。沖合において、島裏にあたる高島や加島周辺では、これら珪藻は比較的少なく窒素は概ね6 $\mu\text{g at/L}$ であった。それ以外の漁場では珪藻が多く見られ、窒素は3~5 $\mu\text{g at/L}$ であった。



		前回値	今回値	平年値	昨年値
西播地先	窒素	4.0	2.9	2.3	1.1
	リン	0.49	0.38	0.35	0.28
家島・坊勢	窒素	7.1	5.5	4.2	4.6
	リン	0.68	0.73	0.56	0.58

(12/27) (1/5)

栄養塩 (窒素) 図

平成31年 1月 8日調査

